



# 2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL  
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



## 戦況用紙

開催日	2019年 12月 5日 木曜日	試合コード	47
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	パークドーム熊本

結果	A	スコア		B
	JPN	23	前半	33
16-16				
後半				
7-17				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
—				
7m c	—			
—	—			
—	—			
Japan			Russia	

戦況	見出し	RUSが10点差でJPNを破り4勝目をあげる
	前半	JPNのスローオフで試合開始。RUSのDFは、これまで通りの6-0システム。先取点は、JPN-27が強引にカットインシュートを決める。RUSも高さを生かしPVシュートですぐ同点に追いつき、RUS-8のロングシュートで逆転。JPNもRW追いつくが、RUS-8の速攻での連続得点で引き離される。6分41秒RUS-13のカットインが決まり、3-5となったところでJPNがタイムアウトを申請する。直後にJPNはCP7人での攻撃に出る。RUSの高いDFに対して、JPNは広く速いテンポのパスワークで攻める。10分30秒にはJPN-28のPVシュートが決まり4-6とする。JPNは3-2-1DFから速攻を決めて、2点差で粘る。14分47秒にRUS-77が退場となる7mTを確実に決めて7-8の1点差に迫る。18分にはJPNが退場者を出し、9-11を再び2点差となる。19分50秒には、7mTを決め11-11の同点に追いつく。一進一退のゲーム展開となり、24分過ぎにはJPN-28のPVシュートで14-14の同点となり、RUSがタイムアウトを申請する。26分JPN-27が7mTを決めて、ついに15-14と逆転する。すぐにRUSもミドルシュートを決める。RUS-8の速攻とJPN-41のカットインで加点して、16-16の同点で前半を折り返す。
後半	RUSのスローオフで後半開始。JPNは3-2-1DFで積極的に足を使って守る。CP7人でボールをつなぎ、JPN-18のLWシュートで先制し、JPN-4の速攻で3分には18-16と2点をリードする。RUSも速攻やRWで同点に追いつく。7分を過ぎて20-20でお互い譲らない。RUS-8が7mTと速攻で連続得点し、20-22とリードされたところでJPNがタイムアウトを申請する。13分08秒にJPN-81のカットインシュートが決まり21-23と追い上げる。16分を過ぎて、JPN-27がミドルシュートを決めるが、RUS-13も鋭くカットインを狙う。RUSの好守からの速攻が連続し、18分過ぎには22-27と5点差をつけられる。RUSに速攻を決められ22-29となつて、21分17秒にJPNは3回目のタイムアウト。RUSのファインセーブが連続して、なかなかJPNは得点を挙げられない。24分23秒22-30でRUSがタイムアウトを申請する。残り5分を切って、JPNはCP7人攻撃でチャンスを伺うが、RUSの高い6-0DFを崩せず、22-31となる。RUS-17のミドルシュートが決まり、23-33の10点差でRUSが予選4戦4勝目とする。	



戦況作成者	中野 靖士
-------	-------